

令和7年度 第1回 川崎市社会教育委員会 青少年科学館専門部会議事録

日時 令和7年7月9日（水）14：00～15：00

会場 川崎市青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館） 自然学習棟2階学習室

出席者（敬称略）

- （1） 委員 （教育職員）井上清一 高橋泉
（公募市民）南條邦子（副部会長）、間渕秀和
（学識経験者）佐藤武宏、山岡均、常喜豊（欠席）、栗芝正臣（欠席）
（家庭教育関係）眞壁総子（部会長）
- （2） 事務局 久保館長、弘田、高中、清水、渡邊（司会進行）、内藤、齋藤、篠原（記録）
上田（生田緑地共同事業体）
- （3） 傍聴者 0人

1 開会（渡邊）

事務局より開会告知、会議の成立、傍聴者受入（定員5名）、記録（録音及び筆記）作成及び会議記録公開について周知（傍聴者なし）。

2 委嘱状の交付（渡邊）

委嘱状を机上配布の旨を案内

部会長、副部会長については、昨年度から引き続き、部会長を眞壁委員、副部会長を南條委員をお願いしている。任期が2年となっている(令和8年4月30日まで)ので今期も引き続きよろしくをお願いしたい。

3 館長挨拶（久保館長）

本日は、大変御多忙の中、また神奈川県内において熱中症警戒アラートも発表され、大変暑さ厳しい中、令和7年度第1回青少年科学館専門部会に御出席いただきまして、ありがとうございます。

様々な調整をさせていただく中でこのような日程になってしまいましたが、来年度はもう少し早めに開催できるよう、心がけてまいります。

申し遅れましたが、私は、青少年科学館長、久保でございます。今年度も館長の任に着いておりますので、皆さまどうか引き続きよろしくお願いいたします。

この専門部会でございますが、平成28年度から川崎市社会教育委員会 組織に位置付けられ、所掌事務は、「科学館の運営に関し意見を述べるとともに、事業評価を行う。」こととございます。委員の皆様におかれましては、今年度は2年の任期の後半ということになりまして、本日はその第1回目の会議ということとなりますが、これからも引き続き、当館の充実・発展に向けて、御指導、御支援をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年度は川崎市制100周年を迎え、ここ生田緑地でも緑化フェアが開催されるなど、大きなイベントが目白押しでございました。

そのレガシーを引き継ぐべく今年度は、従来よりこの専門部会の中でも指摘をいただいております。

りましたインスタグラムの開設や、パワーアップした地層の剥ぎ取り標本展示、自然分野の企画展「どうなる？どうする？生物多様性と外来生物」、プラネタリウム字幕付き投影、土星の輪の消失を観察する観望会、川崎市内の様々な場所における星空観望会等、今月 19 日にはウクライナのハルキウプラネタリウムから日本に避難しているオレナさんを招いてウクライナの文化や星空を解説していただく投影会など、今年度も様々な事業を実施してまいります。

世の中は大変目まぐるしく動いており、社会情勢も様々に変化しております。博物館に求められる役割、ニーズに応じて、当館も運営していく必要があります。当館は公立の施設ではありますが、やはり毎年同じことをやっているだけでは成長がストップしてしまいますし、いつまでも営業ができるとも限りません。常に機会をうかがいつつ、付加価値を付けながら、さらにより多くの方々に親しまれ愛される科学館として、川崎の自然・天文・科学の普及と発展に努め、地域の多様な主体と連携し、地域の活力の向上に寄与できるよう、魅力ある科学館づくりを推進してまいりたいと考えております。

本日の主な議題といたしましては、次第にございますように、令和 7 年度の事業計画を御説明させていただき予定となっております。本日の会議においても、委員の皆様から様々な御指導・御助言を賜りますようお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

4 議題

議事進行（真壁部会長）

次第の 6 議題 令和 7 年度予算・事業計画について

(1)「1 事業内容と予算」について事務局より説明

渡邊：事業名及び事業内容と、今年度、前年度予算額の増減を示している。

- ・「青少年科学館運営管理事業費」博物館としての事業に関する諸経費
主なものは、当館が保有する移動式プラネタリウムについて、設備の増強を計画しているため、備品購入等の予算を計上したため、大幅増となっている。
- ・「青少年科学館指定管理経費」令和 5 年度から第 3 期指定管理期間が始まっており、前年と同額。
- ・「メガスター運営経費」約 600 万円の減。昨年度はフュージョン番組を制作したため増額となった分、今年度は減額。保守委託料の増額等と相殺された上での減額となった。
- ・「ホトケドジョウ人工飼育事業費」横ばいで推移。
- ・全体として、指定管理料を含め、約 1 億 4690 万円が当館の今年度当初予算。

【質疑応答】

山岡委員 移動式プラネタリウム管理事業費が増額になったとのことだが、更新することで機能がよくなることや、よりいろいろな場所に行けるようになるということがあるようであれば、教えていただきたい。

弘田 これまでは移動式の光学式小型のプラネタリウム 1 つだけだったのだが、エアドームとデジタルのプラネタリウムを導入することになったので、場所を選ぶことなく、投影できるようになる。さらに内容についても様々な機能を利用することができるようになる。

(2)「2 事業計画 (1)収集保存事業」について事務局より説明

【自然分野】 高中

- ・「収蔵資料の収集・分類・整理（台帳化）」

昆虫資料を中心に新規資料の作製を進める。また、収蔵庫にある既存の昆虫標本のうち未登録資料の整理・登録（電子台帳化）として 4,000 点を目標に進める。5 月末時点で、新規資料として昆虫資料 30 点を採集し、未登録資料 541 点を登録している。

- ・「GBIF 等国内外機関への資料情報の提供」

「サイエンスミュージアムネット（S-Net）」「地球規模生物多様性情報機構（GBIF）」への資料データを提供することで国内外への収蔵資料情報を公開。本年度は、植物標本等、資料 1,100 点の提供を予定している。

【天文分野】 弘田

- ・「プラネタリウム番組のアーカイブ化」

毎月行っている一般向け番組制作の際に収集した資料、画像、動画等の番組素材やプログラム等のアーカイブ化。資料のデータベース化について、他館の事例を調査するなどデータベースの構築と公開に向けた検討。

- ・「天文資料の整理保存」

故富田氏、故箕輪氏から寄贈された天文資料を整理保存し、目録を作成。番組アーカイブについては統一したフォーマットを作成してアーカイブの目録を作成。富田資料等については、紙資料のデジタル化と目録作成を進めている。

【科学教育分野】 清水

- ・「科学実験についての資料収集と保存・管理」

科学実験教室等で提出される計画書・報告書の管理及び実践事例集の作成を継続し、科学市民団体と取組や成果の共有。館内視聴や SNS 活用を踏まえて、科学工作を紹介する動画や写真素材を収集し編集する。

実施状況として、計画書・報告書を開催の都度、管理・集約しているほか、科学工作を紹介する動画の更新を計画中。

【質疑応答】

質問なし

(3)「2 事業計画 (2)展示事業」について事務局より説明

【自然分野】 高中

- ・「生田緑地の自然情報の発信」

生田緑地における自然について、受付横の生田緑地マップや SNS などを活用してリアルタイムな情報発信を実施。受付横の生田緑地マップは 2 週間に 1 回程度、SNS は 5 月末時点で 9 回更新。

- ・「自然史資料による常設展示の更新」

生田緑地の四季だより、ピックアップテーブルで新たな標本・キャプションによる展示更新を実施。5 月末時点で、四季だよりを年 4 回中 1 回更新、ピックアップテーブルを年 7 回中 2 回更新。

- ・「5月10日の地質の日を記念した特別展示の開催」

当館収蔵の川崎市地域文化財「オン沼切通し多摩ローム層模式露頭剥ぎ取り標本」の5点、全長20mを5月11日に公開。当日は延べ913人の来場がありました。

- ・「企画展の開催」

「どうなる？どうする？生物多様性と外来生物」として、生物多様性と私たちの暮らしの関りや外来生物によって引き起こされる問題に焦点をあてた企画展を7月23日から8月24日まで実施。

【天文分野】 弘田

天文の展示事業について資料の1から7まではプラネタリウムに関するものである。

- ・「プラネタリウム一般投影」

職員の自主制作により1か月ごとにテーマを変えて投影。

- ・「子ども向け投影」

これまでに制作した番組を約2か月ごとに入れ替えて投影。今年度中に子ども向け新番組を1本制作する予定。

- ・「星空ゆうゆう散歩」

平日午後にシニア向け投影として実施しており、元職員の國司眞氏を講師に迎えて毎月開催。

- ・「ベビー&キッズアワー」

祝日や学校長期休業期間等を除いた第1木曜日、第3水曜日に開催する。

- ・「プラネタリウム学習投影」

小中高等学校それぞれの学習指導要領に沿った投影。幼稚園・保育園等を対象とした投影も実施。

- ・「星空自由空間」

平日の一般団体による貸切利用として受入れるもの。貸切になることのメリットを活かし、投影内容等について利用者の希望に応じて対応。

- ・「聴覚障がい者向けの字幕付き投影」

他館や関係機関の協力を得て年度内に1回試験的に実施。

- ・「天文関連展示」

常設展示の他、プラネタリウム番組やイベントに関連した写真などのパネル展示を行う。また市役所本庁舎においてオーロラ写真パネル展を開催。

【科学教育分野】 清水

- ・「市民協働の科学工作展示」

館内イベント等で取り組んだ科学工作物や原理をパネル展示や映像資料として公開していく。実施状況として、市民団体との協働にて展示内容の更新準備中。スマートフォンで視聴できるAR展示を継続し、デジタルサイネージを活用した工作動画などの映像資料を新たに展示。

【質疑応答】

間淵委員 星空自由空間というのはどのような実績があるのか。

弘田 昨年度は3件利用があった。専門学校の交流事業、音楽のライブ、聴覚障がい者向けの字幕付き投影を実施した。

山岡委員 地質の剥ぎ取り標本の展示の日は913人とのことだが、展示標本が見たいということで

こられているのか。また普通の日の同じ曜日と比べてどれくらい多かったのか。

【高中】 来場者数はカウンターを設置して人数を把握している。いつもいらしている方もいるが、この標本を目的として来ている方が多くいた。ワークショップも行っていたが、年配で一人で来られている方もいらした。

【山岡委員】 天文の展示のことだが、土星の環などは最初から分かっているのだから、やりやすいと思うが、新しい発見とかがあったとき速報を出すなどの取り組みは可能なのか。

【弘田】 2階エレベーター前のボードを利用して天文現象の紹介を行っている。速報性のあるものについても検討していきたいと思う。

【高橋委員】 オシ沼の剥ぎ取り標本を学校関係等に貸し出しや公開するなどの予定はあるか。

【高中】 剥ぎ取り標本をならべると非常に大きなものになる。さらに保管が大切になるためなかなか学校への公開は難しい。

【館長】 普段来館してくれている人も、剥ぎ取り標本を見るのが楽しみで初めて来館した人もいらした。また昨年度の展示は2時間という短時間で5本ある標本のうち、1本だけを展示させていただいた。本年度は計画をもって実施できたので、学芸員によるギャラリートークも1日3回10分程度だが行うことができた。ギャラリートークのあとも来場者から学芸員に質問することも多くみられた。なかには小学生が質問することもあり、年代を問わず好評だった。また、同日にマイ地層を作ろうということで、小さな瓶の中に生田緑地の地層を詰めるワークショップを行い、大人から子どもまで皆が楽しむことができた。展示については毎年は難しいと思うが、定期的に開催できないか、形を変えて開催できないか模索したいと思っている。

(4)「2 事業計画 (3)調査研究事業」について事務局より説明

【自然分野】 高中

・「市域の生物調査」

生田緑地を中心として、市域における動植物相解明を進めるための生息種の確認調査を行うとともに、生息状況把握のための実態調査を実施。委託事業として4月から実施中。

【天文分野】 弘田

・「川崎市域の星の見え方調査」

インターネットを通じた市民協働により夏と冬に実施。

・「天体の観測」

太陽望遠鏡での白色光及びH α 光による観測のほか、アストロテラスや天体観測室の望遠鏡等を活用した観測を観測条件の良い時に随時行う。

【科学教育分野】 清水

・「ワクワクドキドキ玉手箱の開発」

授業活用をねらい、玉手箱の新たなテーマとして生物の多様性について体験を通して学ぶキットの開発を市民団体と協力して進める。

・「GIGA 端末用教材の改良及び開発」

現在 GIGA 端末上で公開している小学校地層学習の教員向けデジタル教材に対する意見を収集し、サイトの改良を進める。さらに中学校での地層学習に関連したプログラムについても研究していく。

【質疑応答】

山岡委員 毎年行っている星の見え方調査で皆さんの結果をお知らせするとき、経年変化や新しい試みなど、進展がみなさんに伝わるように意識していただければと思う。

(4)「2 事業計画 (4)教育普及事業」について事務局より説明

【自然分野】 高中

・「生田緑地観察会」

生田緑地の地質、野鳥、植物、昆虫など、四季折々の自然を観察する観察会を、市民団体への委託事業として実施。

・「サイエンス教室（自然分野）」

収蔵庫を見学するバックヤードツアー、学芸員のおしごと体験教室、多摩川での観察会を含む教室等を実施。

・「サイエンスワークショップ（自然分野）」

特別展示とあわせて実施したワークショップを含め、動植物等をテーマに、自然に興味関心を持つきっかけとなるワークショップを実施。

・「自然サポーター研修会」

自然分野の調査研究等を行う自然サポーターを養成することを目的とした講座。9月から10月にかけて実施予定。

・「自然観察（地層・林）」

学習支援を目的に、小・中・高等学校の依頼に基づき、生田緑地内の地層及び林の観察会を実施。

・「総合的な学習の時間支援」

小・中・高等学校の依頼に基づき、総合的な学習の時間の支援。

【天文分野】 弘田

・「アストロテラス公開」

平日昼間にアストロテラスを公開して太陽の観察を行う。また、月に2回程度、日曜日に「昼間の星を見る会」を開催し、太陽と1等星や惑星などを観察。

・「アストロテラス夜間一般公開」

天体望遠鏡を使った夜間天体観望会として事前申し込みなく当日自由参加とし、月1回程度、土曜日に実施。

・「特別観望会」

珍しくかつ観察しやすい天文現象等を観察するもの。11月に環が消失した土星の観望会の開催を検討。

・「プラネタリウムワークショップ」

小学生を対象とした年間を通じた12回の連続講座。プラネタリウムの番組を子どもたちが番組の企画・制作をし、発表会で投影する教室を実施する。12名が参加。

・「プラネタリウム発表会」

近隣の学校と連携した事業。日本女子大学附属高等学校と連携し、天文クラブ生徒によるプラネタリウムの番組制作、投影発表会を実施。

- ・「天文講演会／天文講座」

外部から講師を招き、天文等に関する講演会を開催予定。

- ・「天文サポーター研修会」

新規に天文サポーターを募集し、天文事業ボランティアを育成。定期的に会合を実施し、事業の準備や研修を行う。

- ・「プラネタリウムイベント投影」

プラネタリウムの星空と音楽や映像を楽しむコンサートや映像イベントを開催予定。

- ・「かわさき星空ウォッチング」

移動天文車アストロカーで市内各地に出向き、天文観察会を依頼を受けて実施。

- ・「サイエンス教室（天文分野）」

アストロテラスの望遠鏡を使った天体観察等や日時計の工作、プラネタリウムのバックヤードツアー、小学生を対象としてプラネタリウムの解説など、天文分野の学芸事業を体験する学芸員のおしごと体験教室等を実施予定。

【科学教育分野】 清水

- ・「出前科学実験教室」

小中学校等の依頼に基づき、市民団体を講師として派遣し、実験教材「ワクワクドキドキ玉手箱」を活用して行う科学実験教室を実施。

- ・「サイエンス教室（科学分野）」

様々な年代を対象に、科学の楽しさに触れられる実験や工作等の体験を重視した教室を通年にて実施。

- ・「サイエンスワークショップ（サイエンスショー含む）」

子どもから大人まで楽しめる初歩的な科学講座として、当日参加型の運営方式を継続して実施。また、同じく当日参加型イベントのサイエンスショーは11月・2月に開催予定。

- ・「第20回かわさきサイエンスチャレンジ」

子どもの科学への関心喚起・促進を目的に、高津区溝口のKSP（かながわサイエンスパーク）で8月に開催される「かわさきサイエンスチャレンジ」に参加し、科学実験教室を実施。

- ・「科学サポーター研修会」

科学分野の市民活動に興味をお持ちの方を対象に、科学実験指導者として養成することを目的とした連続講座を7月から開催。

- ・「子ども創意くふう教室」

子どもたち一人ひとりの創造工夫する力を伸ばすことを目的に、5回講座を11月末から開催予定。

- ・「出前教室」

科学館職員が学校や地域団体から依頼を受けて自然や科学、天文に関するテーマで出前教室を開催。

- ・「学校支援 ゆうゆう広場科学実験教室」

川崎市適応指導教室への学校支援として、ゆうゆう広場に通う小中学生を対象に、科学館や各ゆうゆう広場にて行う科学実験教室を年間24回開催。現在、第1期を6月から開催。

- ・「学校支援 かわさき GIGA スクール構想」

市域の博物館としての特性を活かし、学校の理科教育の充実につながるよう端末を活用したデジタル教材の開発・提供。現在、地層学習に関連したデジタル教材を提供中。

【出版事業】

- ・「青少年科学館「紀要」」

調査研究等、学芸事業の成果を「紀要第 36 号」に取りまとめているが、今年度から紙媒体での刊行はせず、PDF ファイルを科学館ホームページで公表。

- ・「地層観察ガイドブック改定版の発行」

科学館ホームページで公開。

【質疑応答】

井上委員 自然観察会やプラネタリウムなど、学習指導要領に基づいたプログラムを計画していただき、感謝している。本校でも 9 月に星空ウォッチングをやっていただくことになっている。今から楽しみにしている。一つ課題があると思うのは、教育普及事業で学校に来ていただくのは問題ないが、児童が科学館に来るまでの交通費がバスなどの値上げによって高くなっている。指導課の予算ではまかないきれない。実際に子どもたちに自然観察をする機会を与えたいと思っている。何か手立てをとっていただけないか。

館長 確かにバス代が高くなっている。今学校の予算がひっ迫している状態にあることを改めて認識した。学校徴収金として、保護者に新たに交通費をお願いすることは難しいとは承知している。一昨年ぐらい前から、科学館から出向いて学校に何う星空ウォッチングなどを拡充し、学校からの依頼に基づかない川崎の臨海部に行って星空観望会を実施したり、溝の口ノクティの屋上で観望会をさせていただいたり、市役所本庁舎で移動プラネタリウムを投影することで、科学館に来られない方が体験できる工夫をしている。どうしても自然の中の観察となると今後の課題とさせていただきたい。

間淵委員 今説明していただいたイベントを動画にとるとか、またどこかに公表するという計画はあるか。

清水 参加者がいるものを動画に撮って公表というのは難しい。今年度科学分野で取り組んでいるのは、サイエンスワークショップをやるにあたって内容がわかるような動画を撮って SNS にあげるようにしている。

館長 科学館で実施することは、SNS で告知させていただくようにしている。確かに実施した内容については広報であまりできていない、当館の事業を知っていただくためにも必要かと考えるので今後検討させていただく。

佐藤委員 自然分野だと昼間外にでかけ観察しないといけないことになると思うが、熱中症対策として熱中症アラートが出た場合、室内プログラムに切り替えるなどの対策はしているのか。

高中 事業によるが、生田緑地観察会は外部講師の方が実際に野外で見てもらいたいとのことなので、7 月から 9 月の暑い期間は開催をしていない。またサイエンス教室につきましては暑さ指数が 31 で中止。その代わりに屋内でのプログラムに切り替えて実施するようにしている。

山岡委員 プラネタリウム発表会で近隣の学校と一緒に活動しているということは大変よい活動だと思っている。来年の 6 月に開催される国際プラネタリウム協会総会で、発表の場を提供したいと思っている。もちろん弘田さんも考えられていることとは思いますが、対象の学校にお声かけしていただければと思う。

もう一つ、来週実施されるウクライナのオレナさんのプラネタリウム解説、昨年度のメキシコから来られた方々との活動など、国際的になってきているところが良いと思う。今後は国際的な交流ができると良いと感じる。

(5)「2 事業計画 (5)ネットワーク事業」について事務局より説明

【展示・企画】清水

・「FIELD MUSEUM 展」

専修大学ネットワーク情報学部との共催。学生がデザインした様々な科学分野、生田緑地の体験型教材等を、ワークショップ形式の体験会として令和8年に開催予定。

【調査研究・収集保存】高中

・「川崎市域の生物調査」

かわさき自然調査団と共著で調査結果を公表予定。また、「神奈川県植物誌調査会」の川崎ブロック事務局として資料の受入や問合せ等に適宜対応していく。

【学習支援】清水

・「職場体験・職業インタビューの実施」

中・高等学校の依頼に基づき、博物館業務の一部を体験学習させる職場体験や、博物館業務全般についての解説をする職業インタビューを行う。5月末時点で4つの学校団体からの要請を受け、今までに1校実施した。

・「中学校連合文化祭開催への協力」

市内中学生の理科教育を通じた交流の場である連合文化祭に会場協力し、10月にプラネタリウムや展示利用の機会を提供予定。

・「教員・職員等研修の受入れ」

市内外の教員研修や博物館学芸員実習を適宜対応・実施予定。

【地域振興・生田緑地内】弘田

・「図書館、区役所等との共催事業」

プラネタリウムでの読み聞かせ事業、区民祭等、各種イベントの共催、連携の推進。

・「地域の大学、団体等との共催事業」

インターンシップの受入れ等、地域の大学・団体等との連携を適宜対応。

・「生田緑地内施設との共催事業の実施」

日本民家園と「七夕」「お月見」のイベントを共催で実施。プラネタリウムの関連番組の投影を実施。

・「各施設の回遊性の向上」

全体会議等を通じた緑地内施設及び指定管理者との情報共有、横断的広報活動の推進を図っている。また生田緑地内施設、藤子・F・不二雄ミュージアムとの連携によるスタンプラリーの開催など、施設の回遊性の向上を図っている。

【質疑応答】

山岡委員 七夕、お月見の共催事業というのは大変興味深いこと。7月7日前後に行われたのだと思うが、伝統的な七夕(旧暦)の時に何かやろうという企画があったらぜひ進めてほしいと思う。もともと

と七夕というのは上弦に近い月があって、それが沈むと天の川が見える。というのが季節を感じる事ができると考える。それが伝えられたらいいかなと思う。ぜひ御検討いただければ思う。

(6)「2 事業計画 (6)管理運営」について事務局より説明

【管理運営】 渡邊

- ・「管理業務」

今年度は第3期指定管理の3年目。引き続き指定管理者と連携し、円滑な事業運営を行っていくとともに、指定管理者の特色を生かした自主事業の実施について支援していく。

- ・「危機管理」

館の災害対応マニュアルについて、適宜アップデートを図りつつ精度を高めていく。昨年度に引き続き、当館関係者が参加する防災避難訓練・講習を行い、適切な対応の確保を図る。

- ・「進行管理」

当部会での御助言を踏まえつつ、事業の実施・進行管理を行っていく。

【科学館の魅力を高めるサービス展開】 渡邊

- ・「広報計画」

ホームページ、SNSの活用を積極的に行い情報発信していく。またこの専門部会でも御助言いただいたInstagramを開設し、投稿を開始しました。今後更なる広報に努めていく。

- ・「魅力を高めるサービス展開」

適切な接遇や職員の専門性を高める研修などによるスキルの底上、カフェ・ショップにおけるサービスの向上、来館者の利便性向上等を図り、館全体の魅力を高めていく。

- ・「多様な利用者への配慮」

当館の施設設備はバリアフリー対応となっている。外国人来館者に対しては外国語のパンフレットを用意し、利便性の向上を図る。

【質疑応答】

質問なし

5 報告事項

(1) 青少年科学館専門部会今後のスケジュールについて（渡邊）

「令和7年度 青少年科学館専門部会 今後のスケジュールについて」今年度は、事業の中間報告を行う第2回目を10月下旬から11月上旬ごろに、委員個別の視察を行う第3回目を11月下旬から12月上旬ごろに、事業評価を行う第4回目を3月に開催する予定。時期をみて日程調整をさせていただきます。

(2) その他 事務局から連絡事項等（渡邊）

報酬の振込日は7月下旬の予定。今回初めて就任された方や口座変更がある場合、旅費の支払いがある場合は事務局渡邊までお願いしたい。

6 閉会（渡邊）